

総評

社会と英語がやや難しめで、全体としてもやや難しめの出題となりました。

今回の試験は、1年から2年の夏休み前までに学習した内容から広く出題されました。最近学習した内容は覚えていても、中1の後半に学習した内容があいまいになっている人が多かったのではないのでしょうか。

入試や、道コンのような試験は、試験範囲が広いことが特徴です。この機会に、以前習った内容を再度復習し、知識を定着させるよう心がけましょう。

2年生の夏休み以降は、勉強が急に難しくなる、差がつきやすくなるなどよく言われます。今回の結果が良かった人も油断せずに、集中して学習に取り組み、入試に向けての良いスタートをきってください。

国語

標準的な出題でした。

㊦は、漢字の読み「戯曲」、書き「郵送」が難しかったようです。「郵」は左側の部分の横画が一本多いものが目立ちました。問三の文法も得点率が低くなりました。品詞の識別のしかたを復習しておきましょう。問四の実用文はよくできています。㊦の小説は読みやすく、長い記述もよくできています。㊦は問二②の得点率が特に低くなりました。問一や問二のように空欄に当てはまる表現を書く問いでは、前後の表現との接続に注意して書くようにしましょう。㊦の古文は、問三が難しかったようです。口語訳と照らし合わせて、省略されている言葉を補いながらも一度読んでみましょう。

全体を通して、書き抜きや記述の誤字脱字、設問の指示の見落としがないように注意しましょう。

数学

いくつか難問はありましたが、全体によく得点できています。①の問4、「 y を、 x を使った最も簡単な式で表しなさい」という問題に対し、「 $5x+8y=1000$ 」などと答える誤りが目立ちました。問題をよく読み、答えとして求められる形(今回は「 $y=\sim$ 」)を読み取りましょう。

②は、近年の入試で出題頻度の高い重要単元です。学校での学習が不十分な人も、用語の意味や代表値の求め方をしっかり確認しておきましょう。④のようなグラフを使った関数の問題は入試では必出です。式から点の座標を求めたり、座標から式を求めることが、比例でも反比例でも自由にできるようにしておきましょう。

⑤問2は、中2で学習した式の計算を利用する問題でした。それぞれの体積を r の式で表し、数の場合と同様に、「何倍」にあたる数は除法で求めましょう。

社会

難しい出題でした。

地理分野では、③問7、④問5の資料活用や判別の問題が難しかったようです。解き方をしっかり身につけ、雨温図などは各地域の気候から判別できるようにしましょう。また、①問3のボツワナの輸出品を答える問題では、アの鉄鉱石を選択する答案が目立ちました。各国の主要な輸出品などを確認しておきましょう。

歴史分野では、⑤問5、⑩問5の文明や文化の名を答える問題が難しかったようです。各時代の文化の名と代表的な作品、作者を資料集などを活用して整理しておきましょう。⑥問7は7世紀ごろの東アジアについて答える問題でした。日本の時代やできごととあわせて、東アジアの移り変わりを一緒に覚えておくと、今後の歴史の学習がよりわかりやすくなります。

理科

やや易～標準の出題でした。

1年分野では、忘れていたことも多かったようで、基本的な内容の出題でも得点率が低くなったものがありました。これからは、1年分野を学習し直す機会は多くありません。このような模試で出題されたときなどを利用して、間違えたところや、よく理解できていないと思ったところを復習しておきましょう。

2年分野の⑤～⑧は、問題によって得点率の差が大きくなったようです。学習した直後ということもあり、身につけていなかったことも多かったかもしれません。今のうちに、教科書や参考書などを読み直して知識をしっかりと定着させるとともに、演習を繰り返し行ってこれまでの学習内容を確実に身に付けて、今後の学習に備えましょう。

英語

全体としては難しい出題でした。極端な難問はありませんでしたが、得点率が50%を下回る問いも多くありました。今回間違えた問題は今のうちにしっかりと復習し、定着させておきましょう。履修して間もない文法事項は、比較的よく得点できていたようです。

①のリスニングでは、得点率の低いものが目立ちました。問2のような出題形式は、入試でも毎年出題されています。しっかり練習をしていきましょう。

②問1でも得点率が低くなりました。こうした問いでは、文脈から判断して単語を選ぶ必要があり、また文法的な知識も必要になります。難度が高くなるので十分に対策しておきましょう。特に①は、be動詞の過去形を履修したばかりだったこともあり、難しかったかもしれません。頻出の表現なので復習しておきましょう。